

ブランク作業における用具の種類・性能要件・規格等

用具の種類	国内/欧州	必要な性能要件	性能要件を担保する規格	廃棄基準（交換の目安）
ロープ	国内	・19kN以上の強度	・安全帯構造指針（安衛研）	・特になし
	欧州	・22kN以上の強度 ・二重構造 ・5%以下の伸び率	・CE EN1891typeA	・点検による（最長10年）
安全帯	国内	・11.5kN以上の強度（ハーネス型） ・15kN以上の強度（胴ベルト型）	・JIS T8165 ・安全帯の規格（厚労大臣告示）	・2年
	欧州	・15kN以上の強度（ハーネス型）	・CE EN361	・点検による（最長10年）
下降具	国内	・特になし（緩下降を可能にすること）	-	・点検による
	欧州	・12kN以上の強度 ・両手を放した状態で下降停止すること	・CE EN12841typeC	・点検による
グリップ	国内	・11.5kN以上の強度 ・動荷重試験において85kgの落下体を保持すること	・JIS T8165 ・安全帯の規格（厚労大臣告示）	・点検による
	欧州	・15kN以上の強度 ・動荷重試験において100kgの落下体を保持すること	・CE EN12841typeA	・点検による
接続具	国内 （カラビナ）	・11.5kN以上の強度	・JIS T8165 ・安全帯の規格（厚労大臣告示）	・点検による
	欧州 （カラビナ）	・15kN以上の強度	・CE EN362	・点検による
	国内 （シャックル）	・25kN以上の強度	・JIS B2801	・点検による
保護帽	国内	・落下物等の衝撃から頭部を保護すること	・JIS T8131 ・保護帽の規格（厚労大臣告示）	・3年
	欧州		・CE EN397	・点検による（最長10年）
その他				